

## 8 しょうずに使おう お金と物

## 教師用指導例

5年 開隆堂版 p.33

めあて 目的に合わせた買い物ができるようにしよう。

【学習指導要領との関連】内容 D 身近な消費生活と環境

(1) 物や金銭の使い方と買物について、次の事項を指導する。

ア 物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えること。

イ 身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

## 1 課題を見つける ……………

説明 1 前の時間では、「買い物の手順」を学習しました。今日は品物を選ぶときに必要なことを考えます。

発問 1 ノートを買に行くと行くという計画を立てます。4冊のノートから1冊を選ぶとしたらどれを選びますか。

※実物を提示して、4冊のノートを紹介する。

ア リングノート

イ キャラクターノート

ウ 3冊セット

エ いつも使っているノート

※直感でいいので手を挙げさせ、見た目だけの情報では決められないことに気づかせる。

## 2 課題を追究する ……………

発問 2 見た目以外に、どんなことが分からないと決められませんか。

(「値段」、「ページ数」、「何に使うか」、「使いやすさ」……)

説明 2 値段から見てみます。

※子どもに予想させながら板書する。

ア 140円

イ 150円

ウ 200円

エ 180円

※再度どれを選ぶか聞き、これだけでは決められないことに気づかせる。

※値段と同様に、何に使うか、ページ数についても確認していく。

ア 140円 64ページ

イ 150円 80ページ

ウ 200円 1冊64ページ

エ 180円 64ページ

説明 3 (ノート p.33 【①調べよう】の内容に合わせて,) ノートを使う目的は、算数の学習に限定します。

説明 4

算数ノートとしての使いやすさを見るために、実際にノートを見てもらいます。見た後に、どのノートを買うのか、なぜそれを選んだのか、発表してもらいます。

※実際に手に取らせて、隣同士で自由に話し合わせる。

指示 1

家庭科楽習ノートの 33 ページを開きます。選んだノートの記号と選んだ理由が書けたら、先生のところに見せに来ます。

※書かせる前に、ノート p.33 【①調べよう】に書かれている計画メモの内容と、ノートの特徴を再度確認させる。

※書けたら前に持ってこさせ、書いた内容に赤丸をつけ、黒板前に並ばせて待たせておく。

## 3 討論する(発表) 4 異なる考えを認める……………

指示 2

それでは黒板の前に出て発表してもらいます。「○○のノートを選びました。○○○○だからです。」のように発表します。

(・アのノートを選びました。リングノートはノートが開きやすいからです。

・イのノートを選びました。表紙や中のノートにイラストが入っていて、可愛いからです。

・ウのノートを選びました。算数はたくさんノートを使うので、1冊あたりの値段が安いほうがよいからです。

・エのノートを選びました。紙質がよいし、方眼が入っていて計算しやすいと思ったからです。)

※例として、次のように教師の考えを示してもよい。

「先生はエのノートを選びました。算数の学習に使うという目的を考えると、エのノートは方眼になっていて、図やグラフが書きやすいからです。」

## 5 まとめる……………

説明 5

買い物の際に優先することは、使う目的や人の好みによってもさまざまです。どのノートを選ぶか、正解はありません。ただ、よりよい品物を買うために、値段や量、品質、機能、環境への配慮がされているかなど、情報をよく確かめましょう。

## 板書の例

	値段	ページ数	ノートを使う目的
ア	140円	64ページ	算数の学習
イ	150円	80ページ	
ウ	200円	1冊64ページ	
エ	180円	64ページ	